

平成25年度 第1回地域力創造セミナー

～起業・就業・定住に必要な経験の積み重ね方について考える～

人口減少社会の到来や地方分権改革の進展など、地域を取り巻く環境が大きく変化している中、地域を支える人材の育成やコミュニティ活動の再生など、「地域力」を高める取組や「住民協働」の視点が更に重要となってきております。

このため、活力ある地域づくりや課題解決に取り組む各地方公共団体のノウハウ蓄積、人材育成等を支援するとともに、共通の行政課題に取り組む地方公共団体同士や講師とのネットワーク構築の場を提供することを目的に「地域力創造セミナー」を開催します。

第1回セミナーは、「起業・就業・定住に必要な経験の積み重ね方について考える～」を全体テーマに、総務省『地域力創造のための起業者定住促進モデル事業』の派遣地域を題材に、外部人材の起業・就業・定住に向けた取組の進め方・ポイントについて具体的に考えます。



取組意欲を高める協力隊員を交えた地元会議（福島県塙町）



ノウハウを高める協力隊員に対する個別指導で（長崎県対馬市）

平成25年10月3日（木）～4日（金）の二日間

10月3日（木）：「講演の部」 福島県塙町 塙町公民館

10月4日（金）：「現地見学の部」 福島県塙町内

入 場 無 料

本セミナーの特長

- ★「地域人材ネット」に登録する専門家等が講師となった、活力ある地域づくりや課題解決の先進事例等の講義等を通して、知識やノウハウが習得できます。
 - ★受講募集時に質問を募り、それを講義へ反映させることで受講者のニーズに対応いたします。
 - ★名刺交換会、交流会を通じて、講師や受講者間でネットワークを広げる機会があります。
- ※「地域人材ネット」：地域活性化に活躍している民間専門家や先進市町村職員等を登録し、総務省ホームページで広く紹介することにより、市町村相互の交流やノウハウの共有等に寄与しています。

地域人材ネット Web アドレス：<http://www.soumu.go.jp/ganbaru/jinzai/index.html>

本セミナーの受講の対象者

- 地域づくりを実践・支援する、あるいは関心のある行政職員
- NPO、まちづくり団体等の職員の皆さん
- 地域おこし協力隊員の皆さん

お申込みの方法

- 本セミナー運営事務局「価値総合研究所ホームページ」、または、FAX（03-5205-7922）でお申し込みください。
- ★「講演の部（3日）」の定員は80名、「現地見学の部（4日）」の定員は20名となります。どちらも先着順とさせていただきます。
- ★お申込みの締切は平成25年9月27日（金）17時となります（定員に達した時点でも締切となります）。

第1回セミナーの内容

■講演の部（10月3日（木））

●開会（13:15）

●講演

○リレーセッション（講演）1（13:35～14:35 60分）

「地域おこし協力隊員が成長し定着するための10のポイント」

講師 中島 淳 氏（株式会社カルチャーアットフォーシーズンズ代表取締役）

（平成25年度派遣地域：平取町、平成24年度派遣地域：埴町、平成23年度派遣地域：唐津市）

○リレーセッション（講演）2（14:40～15:40 60分）

「地域おこし協力隊制度をより有効に活用するための10の法則」

講師 養父 信夫 氏（株式会社マインドシェア 「九州のムラ」編集長）

（平成25年度派遣地域：山口市、平成24年度派遣地域：対馬市、平成23年度派遣地域：瀬戸内町）

<休憩>

○リレーセッション（講演）3（15:55～16:25 30分）

「常陸太田市における取組」

講師 佐藤 啓 氏（常陸太田市総務部長兼政策企画部長）

○パネルディスカッション（16:30～17:30 60分）

テーマ：「起業・就業・定住に必要な経験の積み重ね方について考える」

コーディネーター：大槻 大輔 氏（総務省地域自立応援課人材力活性化・連携交流室長）

パネリスト：中島 淳 氏

：養父 信夫 氏

：佐藤 啓 氏

●閉会（17:30）

●名刺交換会（情報交換会）（17:30～18:00 30分）

●交流会（18:00～21:00 180分）※移動時間を含みます

■現地見学の部（10月4日（金））

●集合・移動（8:00）：JR水郡線磐城埴駅 集合予定

●現地見学（9:00～12:00）

・埴町の外部人材（地域おこし協力隊員）が活動している現場見学（マイクロバス を利用）

・中島講師、町担当者、地域おこし協力隊員による解説

●移動・解散（14:00）：JR水郡線磐城埴駅 経由 JR東北本線 新白河駅 解散予定

※事情によりプログラムの一部を変更する場合があります。

※「現地見学の部」だけの参加はご遠慮ください。

※交流会参加費は3,500円となります（参加費は当日交流会場にて集金いたします）

申込先

【お申し込み先：事務局】

株式会社価値総合研究所 地域力創造セミナー係

担当：八木、目黒

TEL：03-5205-7901 FAX：03-5205-7922

E-Mail：seminar@vmi.co.jp

【お問い合わせ先：主催者】

総務省地域力創造グループ 人材力活性化・連携交流室

担当：齊藤地域支援専門官、高橋係長、竹内

電話：03-5253-5392 FAX：03-5253-5537

メール：chiikikasseika1@soumu.go.jp

価値総合研究所ホームページからのお申し込みはこちらから

<http://www.vmi.co.jp/symposium/business/h25chiikiryouku1.html>

セミナー会場（埴町公民館）までのアクセス



埴町公民館
 福島県東白川郡埴町大字埴字桜木町 80 番地
 TEL : 0247-43-0320
<http://www.town.hanawa.fukushima.jp/hanawa/kyoui-HP/sub/koumin.html>

- ◆鉄道利用
 JR 磐城埴駅下車、車で 5 分。
 JR 東北本線・東北新幹線 新白河駅下車、車で 70 分。
- ◆車利用
 東北自動車道「白河」IC から車で 45 分、
 または常磐自動車道「那珂」IC から車で 70 分。
 ※駐車場には限りがございますので予めご了承ください。




■ JR 東北本線・東北新幹線 新白河駅東口前から無料送迎バスが 11 : 30 に運行します

申し込み欄（FAX 申込み用） FAX 番号：03-5205-7922

お名前 (ふりがな)	
E-mail アドレス	
電話番号	
携帯電話番号※	
ご所属	(所属名)
	(部署名) (役職名)
	(地域活性化や住民協働などに関する事業の経験年数) 年
外部専門家の活用状況	①制度を知らない、②導入を考えている、③導入1年目、④導入2年目、⑤導入3年目、⑥4年以上、⑦不明 (いずれかにひとつに○を付けてください)
地域おこし協力隊の状況	①制度を知らない、②導入を考えている、③導入1年目、④導入2年目、⑤導入3年目、⑥不明 (いずれかにひとつに○を付けてください)
参加者名簿へのお名前等の記載	可 ・ 否 (どちらかに○を付けてください) 皆様方のネットワークづくりの一環として当日に参加者名簿を配布する予定です
新白河駅からの送迎の要否	利用する ・ 利用しない
参加区分	交流会 参加 ・ 不参加
	現地見学 参加 ・ 不参加
講師にお聞きしたいことがございましたらご記入ください	講師名: ご質問:

※複数名申し込みの際は、応募用紙をコピーしてください。
 ※本セミナーへの参加は先着順となります。
 ※参加区分は、交流会、現地見学それぞれについて、どちらか一方に○を付けてください。
 ※現地見学のみ参加はご遠慮ください。
 ※交流会参加費は3,500円となります(参加費は当日交流会場にて集金いたします)。
 ※現地見学を希望される方は、携帯電話の番号を必ずご記入ください。
 ※JR 東北本線・東北新幹線 新白河駅からの送迎をご希望の方は、送迎の欄の必要に○を付けてください。

平成25年度 第1回 地域力創造セミナー講師紹介

ログラム	氏名		実績等
リレーセッション1	中島 淳 (なかしまじゅん)		<p>株式会社カルチャーアットフォーシーズンズ 代表取締役 (H25年度派遣地域: 北海道平取町、H24年度福島県塙町、H23年度派遣地域: 佐賀県唐津市)</p> <p>実践を通じた地域活性化マーケティングを行う株式会社カルチャーアットフォーシーズンズを平成13年に設立。以降、地域や業界等が抱える課題解決をカタチにするため、ビジネスモデルの構築(事業づくり)や、仕組みづくり、組織づくり(実施主体)のプロジェクトプロデュースを推進する。平成14年から手がける「会津ぐるっとカード」事業では、日本で初めてとなるJR、私鉄、地域交通バス、市内循環バスの2日間乗り放題切符を商品化。平成19年には山形県遊佐町のアンテナショップを都内空き店舗を使って開設し、平成20年にはプロデュースした糯米パッケージがグッドデザイン賞を受賞するなど幅広い活動を展開。</p> <p>地域力創造アドバイザーでは、平成20年度に和歌山県紀の川市、22年度に沖縄県石垣市、23年度に佐賀県唐津市、24年度は福島県塙町を担当し、平成25年度は北海道平取町を担当している。</p>
リレーセッション2	養父 信夫 (ようふのぶお)		<p>株式会社マインドシェア 「九州のムラ」編集長 九州のムラたび応援団団長 (H25派遣地域: 山口県山口市、H24派遣地域: 長崎県対馬市、H23派遣地域: 鹿児島県瀬戸内町)</p> <p>マチとムラの交流=ツーリズムによる地域活性雑誌「九州のムラへ行こう」(平成7年創刊)の編集長を務め、九州のツーリズムを取材するかたわら、民間企業とムラをつなげる各種プロジェクトを企画。平成17年に開設した福岡市内の商業施設にマチの直売所として「九州のムラ市場」や、自動車メーカーと「Gazoomura(ムラの活動を紹介し、ナビゲートすることにより体験型ドライブを提案するサイト)」プロジェクトを平成19年に推進するなど、ツーリズムを一般に広げる活動を仕掛けている。また九州のグリーンツーリズム実践者たちのネットワーク組織「九州のムラたび応援団」の団長も務め、人材育成、情報発信なども行う。</p> <p>地域力創造アドバイザーでは、平成20年度に鹿児島県霧島市、平成23年度に鹿児島県瀬戸内町、平成24年度に長崎県対馬市を担当し、平成25年度は山口県山口市を担当している。</p>
リレーセッション3	佐藤 啓 (さとうけい)		<p>常陸太田市総務部長兼政策企画部長</p> <p>平成23年7月から同市政策企画部長。人口減少対策を中心に、域学連携や地域おこし協力隊事業を手掛ける。</p> <p>人口減少対策では、「子育て上手 常陸太田」をキャッチフレーズに総合的な少子化・人口減少対策を展開中。</p> <p>域学連携では、昨年度、県内の3大学と連携し、当市をフィールドとする共通カリキュラムを整備。今年度も参加学生を増やし継続して実施中。</p> <p>協力隊事業は、今年度が3年目。当市協力隊「ルリエ」を側面支援。今年度から協力隊制度を活用したアーティスト・イン・レジデンスを展開し、協力隊事業のさらなる発展を目指す。4月から同市総務部長を兼務。市の行財政改革を併せて担当。</p>

講師活動地域紹介

地域名	取組概要
福島県塙町	<p>矢塚地区活性化事業 (地域の未活用資源を使った特産品づくり)</p> <p>塙町矢塚地区は町中心部とは標高差が500mある集落人口120名の山間地の集落であり、地区外移転と少子高齢化より後継者が不足する状況である。この中で、廃校を利用して地元資源を活用した産品(加工品)をアドバイザーや地域おこし協力隊と共同し、農産物の加工ブランド化・販路開拓により矢塚ブランドを全国に発信していく。農家の収入増加を図り、地元の若者が農業にやりがいを持てるような環境づくりを目指す。</p>
長崎県対馬市	<p>「次世代の豊かさ」創出・魅了事業 ~対馬の「学び」のある体験滞在型観光と特産品開発を通じた移住交流促進~</p> <p>大学生等を対象とした実践塾を開講し、参加者の意見を反映しながら、「学び」のある体験滞在型観光による移住定住促進や住民アイデンティティの向上、域外サポーターの獲得等の社会経済効果を高めるとともに、島内経済循環を促し、埋もれた資源を活用し、ストーリー性を持たせた特産品開発を目指す。</p>
茨城県常陸太田市	<p>女性協力隊員5名で人と地域・文化をつむぐ「ルリエ」を展開</p> <p>常陸太田市は、県内で同制度を採用入れた初めての自治体。大学のフィールドワーク等で縁のある清泉女子大学(東京都品川区)の卒業生5名が地域おこし協力隊員に就任。地域資源の発掘、市内外への情報発信、交流人口の拡大や地域コミュニティの強化などに取り組んでいる。今年度は、協力隊制度を活用したアーティスト・イン・レジデンスを展開し、協力隊事業のさらなる発展を目指す。</p>